

農業大学校紹介動画②卒業生・在校生へのインタビュー編（5分版） 字幕

（ナレーション）

野菜や稲、花や植木の栽培に、酪農。
農作物の管理から、販売・経営方法まで、日々農業に関わる
幅広い知識を学び、技術を身につけている
埼玉県農業大学校の学生たち。

どんなキャンパスライフを送っているのか、気になりますね。
学校生活や卒業後について、在校生と卒業生に訊いてみましょう。

まずは、在校生のお二人。

（在校生）

○農業大学校志望の理由

この農業大学校の酪農学科は、特に実習が多くて実践的なことがたくさん学べるので、それで入ろうと思いました。

安全安心な農産物を自分で作って喜んでいただけるのが良いな。
そのために最初基礎を勉強するというので入りました。

○入学して良かったこと

周りの仲間たちと協力して乳牛の管理や生態を学んでいけるので、とても楽しいです。

きっちり手をかければかけたほどその成果が出る、その後のお楽しみのために今大変がある、そんな風に思いながらやっています。

○卒業後の進路 将来の夢

牛の数は少ないけれど、一頭一頭よく観察できるような観光牧場が良いなと思っています。

埼玉でも酪農を広めていきたいと思っています。

地域に根差している農業で、自分のところで売れてお客さんの顔が見える販売をしていきたいという思いが強いです。

(ナレーション)

続いて、卒業生のお二人です。

(卒業生)

○「専攻」選択の理由

機械がもともと好きだったというのがありますし、野菜に比べて機械ですべて田植えから収穫までできること、大規模にやっていけばそれなりに稼ぐことができるというのを聞いていたので。

高校時代に川越の丸広百貨店でメロンを販売させてもらった経験が楽しく、進むなら施設栽培が良いかなと思いました。

○卒業後役立った大学校の授業

農業で必要な知識も学べますし、経営に必要な知識も学べたので、就農してからも生かせる部分が多くて、土壌診断を授業で学んだんですが、そういった授業もすごく役に立っています。

実習はもちろんなんですけど、座学でやった簿記や農業経営、労務管理などの授業があったと思うんですが、ものを作るだけじゃなく、そこから利益を上げていかなければならないので、どこでお金がかかり、どこでコスト削減できるかが重要なので、そういう知識は知っておいた方が良いと思います。

○今後の目標 将来の夢

今後はさらに規模拡大をしていきたいなと思っています。

東北にも勝るような美味しいお米を作っていきたいなと思っています。

長くこの事業が続けられるように、管理されていない部分があるので、そういうところを整備していきたいです。

自分の好きなものだけ作れば楽しいですが、そういうわけにはいかないの、会社の利益になるようなものをいろいろ作っていけたらと思っています。

(在校生・卒業生)

○メッセージ

皆さんも酪農学科に入って埼玉県の酪農業を活性化させていきましょう。

農業は本当に楽しいです。農業大学校でたくさん学んで、たくさん仲間を作ってください。

農業大学校で学ぶことはどんな道に進んでも生かせるし、ためになることなので、ぜひ一緒に農業を頑張りましょう。

色々なバックグラウンドがあって入学してくる方、農業大好きという方は集まっていたいただければと思います。